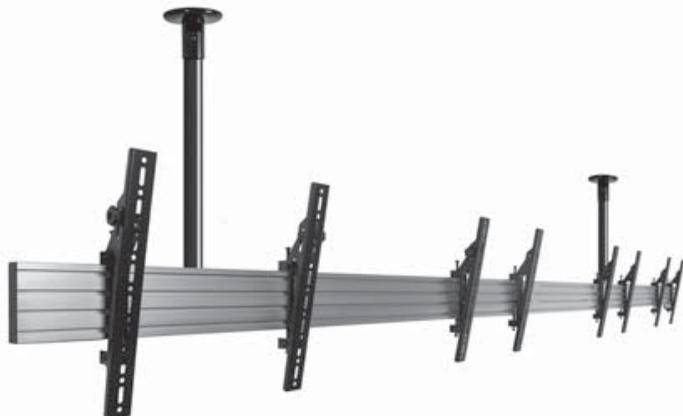




BT8332 シリーズ

SYSTEM X™

ユニバーサル天吊りメニューボード 設置マニュアル・部品リスト



耐荷重



ディスプレイ単位

INDEX

安全上のご注意	2
部品表	3
組立方法	5
寸法図	14

組立に必要な工具類

プラスドライバー

スパナ

電動ドリル

ペン

水準器

カッター



B-TECH AUDIO VIDEO MOUNTS

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。



注意 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。(してはいけない禁止内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(気をつける内容)

警告



禁止

本製品は、総重量 50kg 以下のディスプレイを、固定するためのマウントキットです。これらの最大耐荷重以上のディスプレイの取り付けには絶対使用しないで下さい。

この指示を守らないと、ディスプレイが落下して人がけがをしたり、財産に損害を与える原因となります。



禁止

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めて下さい。

ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。

指定を守らないとディスプレイの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



製品の組み立て、ディスプレイの取り付けや取り外し作業は専門業者が技術的な考察の上、行ってください。また作業を行う際には2人以上で行って下さい。

これらの指定を守らないと、ディスプレイが落下して、けがをしたりディスプレイが破損する原因となることがあります。



取り付け作業の際は、ディスプレイや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。感電の原因になったり、ディスプレイや周辺機器を破損する恐れがあります。



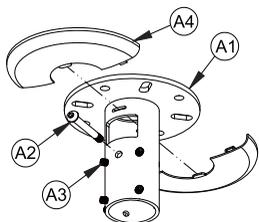
組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損してないことを確認してください。

足りない部品又は破損している部品のある場合は、輸入元に連絡して下さい。尚、破損した部品は、絶対に使用しないで下さい。

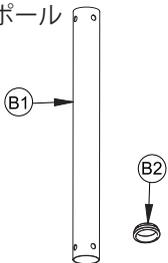
BT833 2 パーツリスト

SYSTEM X BT8332 は設置されるモニターのパターンや取付方法により、これらの部品を組み合わせることで構成されるマウントです。

**(A) BT7822 天吊り金具
50mm**

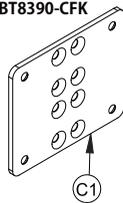


(B) BT7850 50mm径天吊りポール



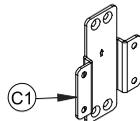
**(C) BT8390-CFK / BT8390-WFK2
カラー/水平バー固定金具**

BT8390-CFK



BT8390-WFK2

BT8390-VESA400MAFないしBT8390-VESA400MAPの場合にはこちらを使用



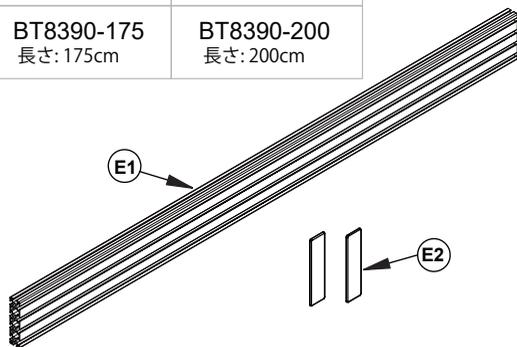
(E) 水平バー

BT8390-070
長さ: 70cm

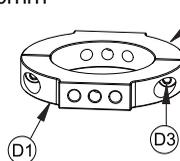
BT8390-150
長さ: 150cm

BT8390-175
長さ: 175cm

BT8390-200
長さ: 200cm



**(D) BT7841 天吊りポール用カラー
50mm**

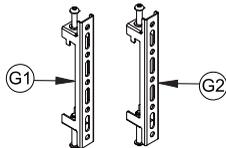


**(F) オプションツール
BT8390-EXT
水平バー連結金具**

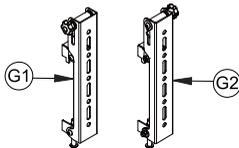


(G) VESAアーム

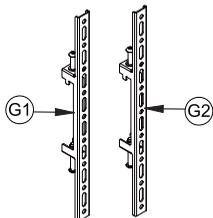
BT8390-VESA200F



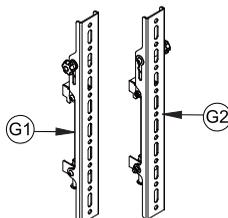
BT8390-VESA200T



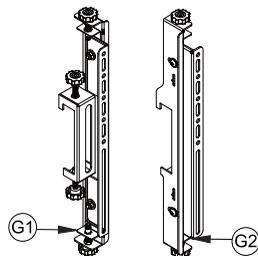
BT8390-VESA400F



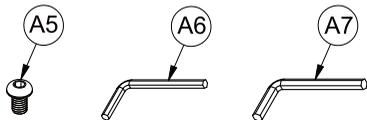
BT8390-VESA400T



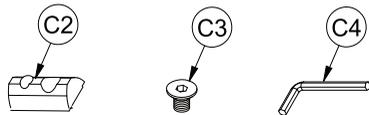
BT8390-VESA400MAF



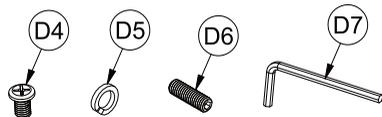
BT7822同梱：固定ネジ・工具



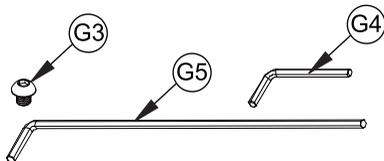
BT8390-CFK/WFK2同梱：固定ネジ・工具



BT7841同梱：固定ネジ・工具

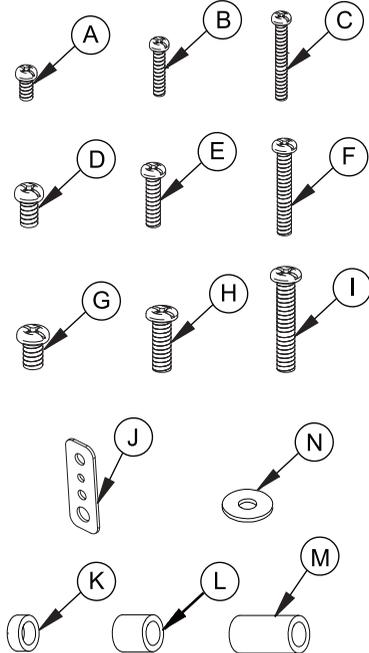


VESAアーム同梱：固定ネジ・工具



VESAアーム同梱：モニター取付けネジ類

※モデルにより同梱されているネジが異なります。



付属部品表

BT7822同梱品

記号	部品名	入数
A1	天吊り金具	1
A2	M8×60mm 六角穴ネジ	1
A3	M8×8mm 無頭ネジ	8
A4	天井固定板カバー	2
A5	M8×12mm 皿頭ネジ	1
A6	4mm 六角レンチ	1
A7	5mm 六角レンチ	1

BT7850同梱品

記号	部品名	入数
B1	50mm 径天吊りボール	1
B2	ボール終端キャップ	1

BT8390-CFK/WFK2同梱品

記号	部品名	入数
C1	カラー / 水平バー固定金具	1
C2	M8 スライディングナット	4
C3	M8×12mm 皿頭ネジ	8
C4	3mm 六角レンチ	1

BT8741同梱品

記号	部品名	入数
D1	天吊りボール用カラー (半分)	1
D2	天吊りボール用カラー (半分)	1
D3	M8×20mm ネジ	2
D4	M8×12mm ネジ	4
D5	M8 スプリングワッシャー	4
D6	M8×25mm 無頭ネジ	2
D7	4mm 六角レンチ	1

BT8390-070・150・175・200同梱品

記号	部品名	入数
E1	水平バー	1
E2	エンドキャップ	2

BT8390-EXT同梱品

記号	部品名	入数
F1	連結金具	6
F2	M6×8mm 無頭ネジ	24
F3	3mm 六角レンチ	1

各種VESAアーム同梱品

記号	部品名	入数
G1	VESA アーム 左	1
G2	VESA アーム 右	1
G3	M6×6mm 六角穴ネジ ※2	4
G4	4mm 六角レンチ ※2	1
G5	5mm ロング六角レンチ ※1	1

記号	部品名 (モニター取付ネジ類)	入数
A	M4×12mm ネジ ※1	4
B	M4×25mm ネジ ※1	4
C	M4×40mm ネジ ※1	4
D	M6×16mm ネジ	4
E	M6×25mm ネジ	4
F	M6×40mm ネジ	4
G	M8×16mm ネジ	4
H	M8×25mm ネジ	4
I	M8×40mm ネジ	4
J	取付ネジ用マルチワッシャー ※1	4
K	5mm スペーサー	4
L	13mm スペーサー	4
M	24mm スペーサー	4
N	取付ネジ用 M6 ワッシャー ※3	4

※1:
BT8390-VESA400MAF には同梱されていません。

※2:
BT8390-VESA200F と BT8390-VESA400F と BT8390-VESA400MAF には同梱されていません。

※3:
BT-8390-VESA400MAF のみ同梱されています。

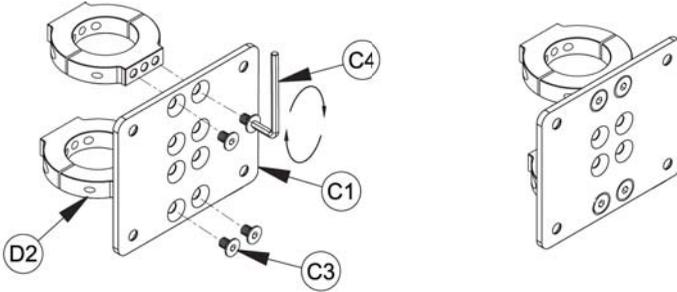
組立方法

1-A

カラー / 水平バー固定金具を取付ける

カラー / 水平バー固定金具 **BT8390-CFK** を使用する場合

1) 下図のように、カラー / 水平バー固定金具 (C1) の一番上のネジ穴 2 か所と一番下のネジ穴 2 か所に M8×12mm 皿ネジ (C3) を差し込み、天吊りポール用カラー (D2) にねじ止めます。



2) 下図のように、M8 スライディングナット (C2) を水平バー (E1) の一番上のレールに 2 個と一番下のレールに 2 個を差し込みます。

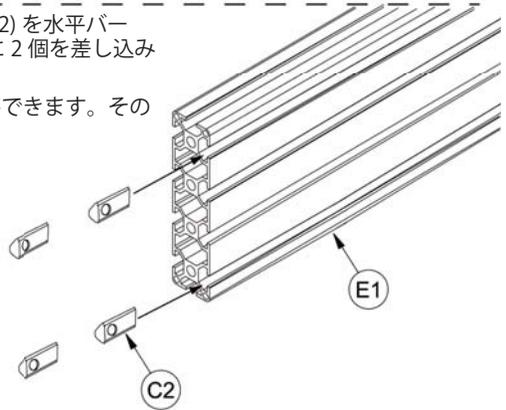
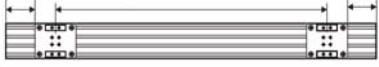
水平バーは必要に応じて連結して延伸することができます。その場合には、14 ページの説明をご覧ください。

ポール 1 本で使用する場合には、水平バーの中央に取付けます



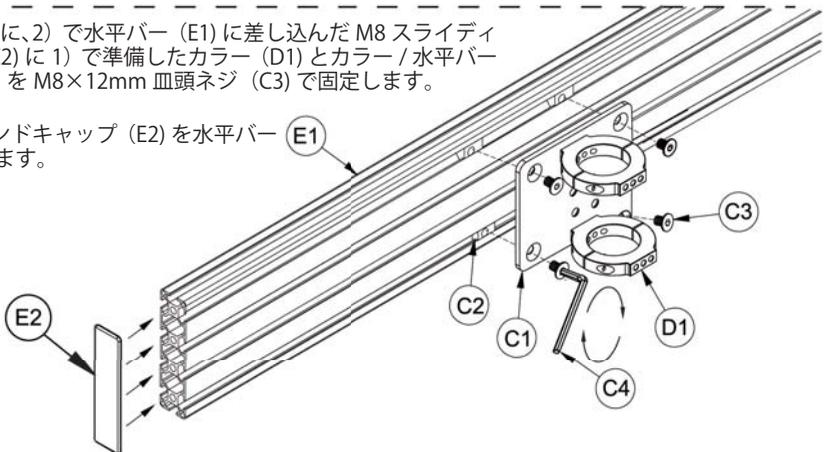
ポール複数本で使用する場合には、水平バーの両端幅を均等にするようにしてください。

天吊りポールの最大間隔は 1500mm 以内



3) 下図のように、2) で水平バー (E1) に差し込んだ M8 スライディングナット (C2) に 1) で準備したカラー (D1) とカラー / 水平バー固定金具 (C1) を M8×12mm 皿頭ネジ (C3) で固定します。

4) 最後に、エンドキャップ (E2) を水平バー (E1) に取付けます。

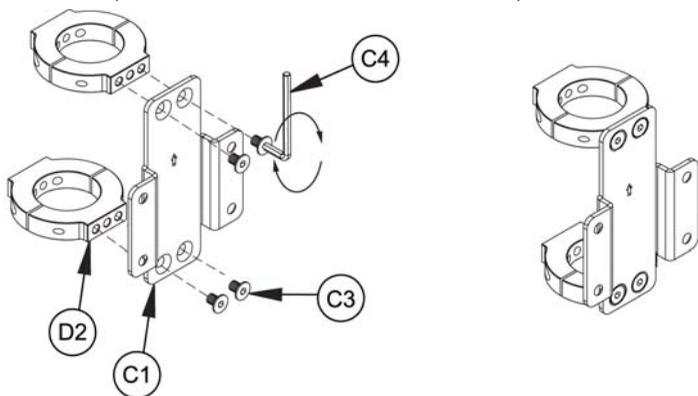


1-B

カラー / 水平バー固定金具を取付ける

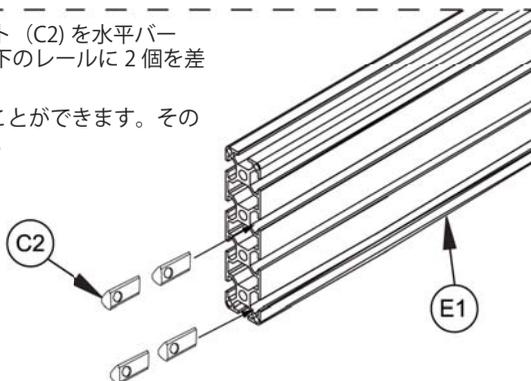
カラー / 水平バー固定金具に **BT8390-WFK2** を使用する場合

1) 下図のように、カラー / 水平バー固定金具 (C1) の上下4か所のネジ穴に M8×12mm 皿ネジ (C3) を差し込み、天吊りボール用カラー (D2) にねじ止めします。



2) 下図のように、M8 スライディングナット (C2) を水平バー (E1) の上から2番目のレールに2個と一番下のレールに2個を差し込みます。

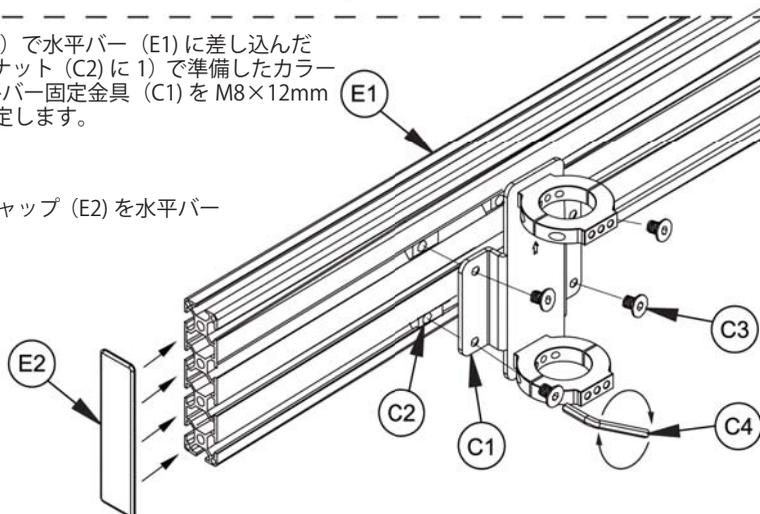
水平バーは必要に応じて連結して延伸することができます。その場合には、14ページの説明をご覧ください。



※水平バーへの取り付け位置等は前ページの説明に準じます。

3) 下図のように、2) で水平バー (E1) に差し込んだ M8 スライディングナット (C2) に1) で準備したカラー (D1) とカラー / 水平バー固定金具 (C1) を M8×12mm 皿頭ネジ (C3) で固定します。

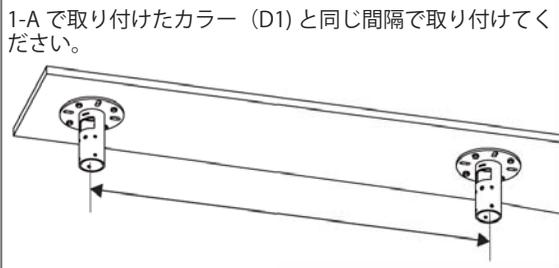
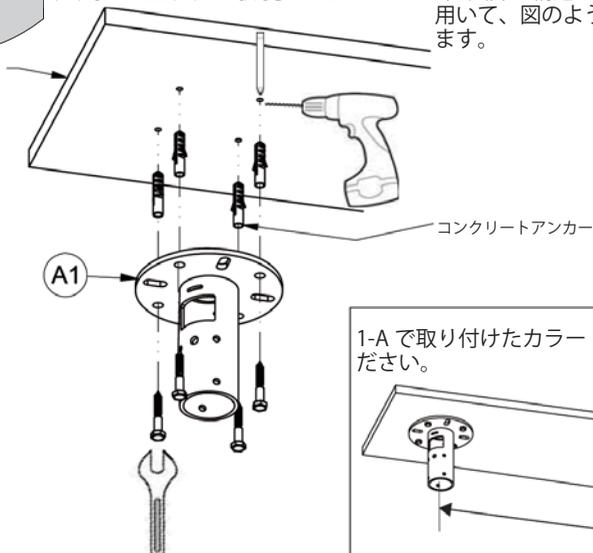
4) 最後に、エンドキャップ (E2) を水平バー (E1) に取付けます。



2

天吊り金具を取付ける

1) 天井の構造にあったアンカーやラグボルトなどを用いて、図のように天吊り金具 (A1) を天井に取り付けます。

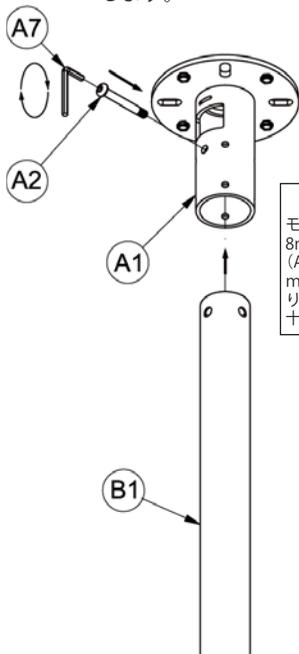


3

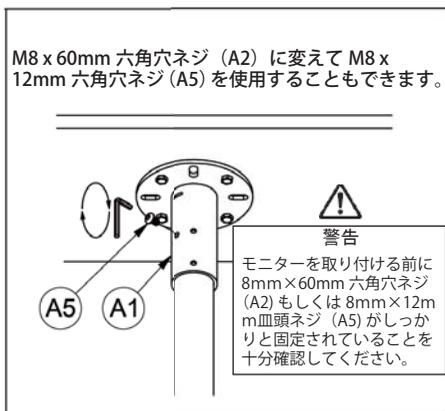
天吊りポールを取付ける

1) 図のように BT7850 天吊りポール (B1) 天吊り金具 (A1) に差し込み、M8×60mm 六角穴ネジ (A2) を 5mm 六角レンチ (A7) を使用して所定の位置に固定します。

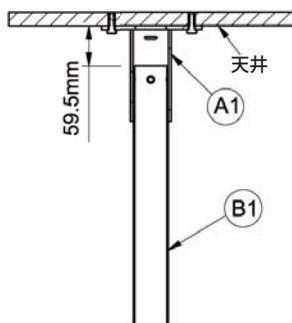
M8×60mm 六角穴ネジ (A2) に変えて M8×12mm 六角穴ネジ (A5) を使用することもできます。



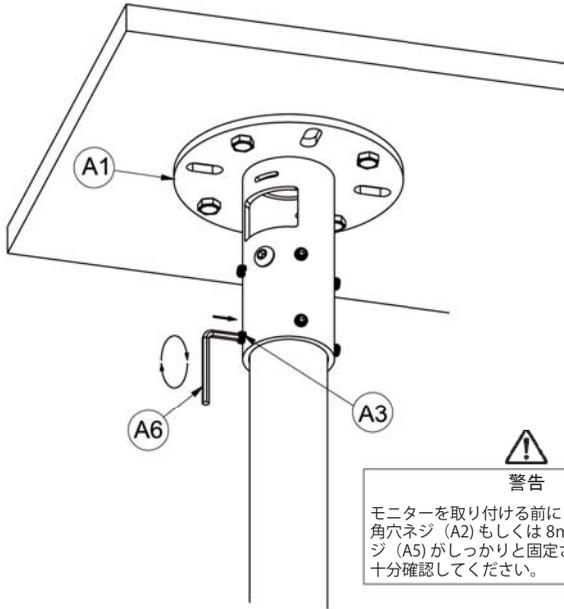
警告
モニターを取り付ける前に 8mm×60mm 六角穴ネジ (A2) もしくは 8mm×12mm 皿頭ネジ (A5) がしっかりと固定されていることを十分確認してください。



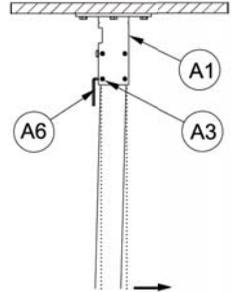
天吊りポールの先端位置



2) 4mm 六角レンチ (A6) を使用して M8×8mm 無頭ネジ (A3) を 8 か所 締め付けます。



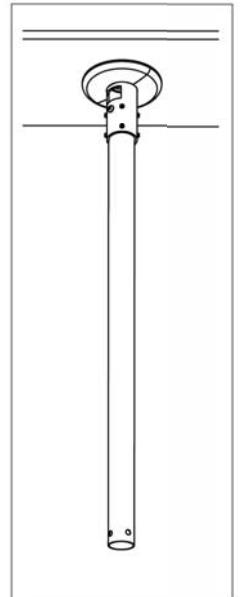
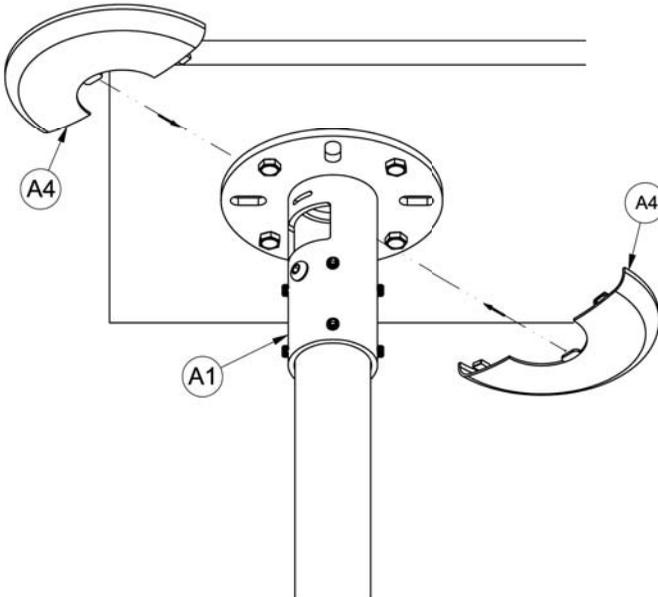
この時、M8×8mm 無頭ネジ (A3) の締め付けを加減することにより、50mm径天吊りボールの多少の角度調節ができます。



警告

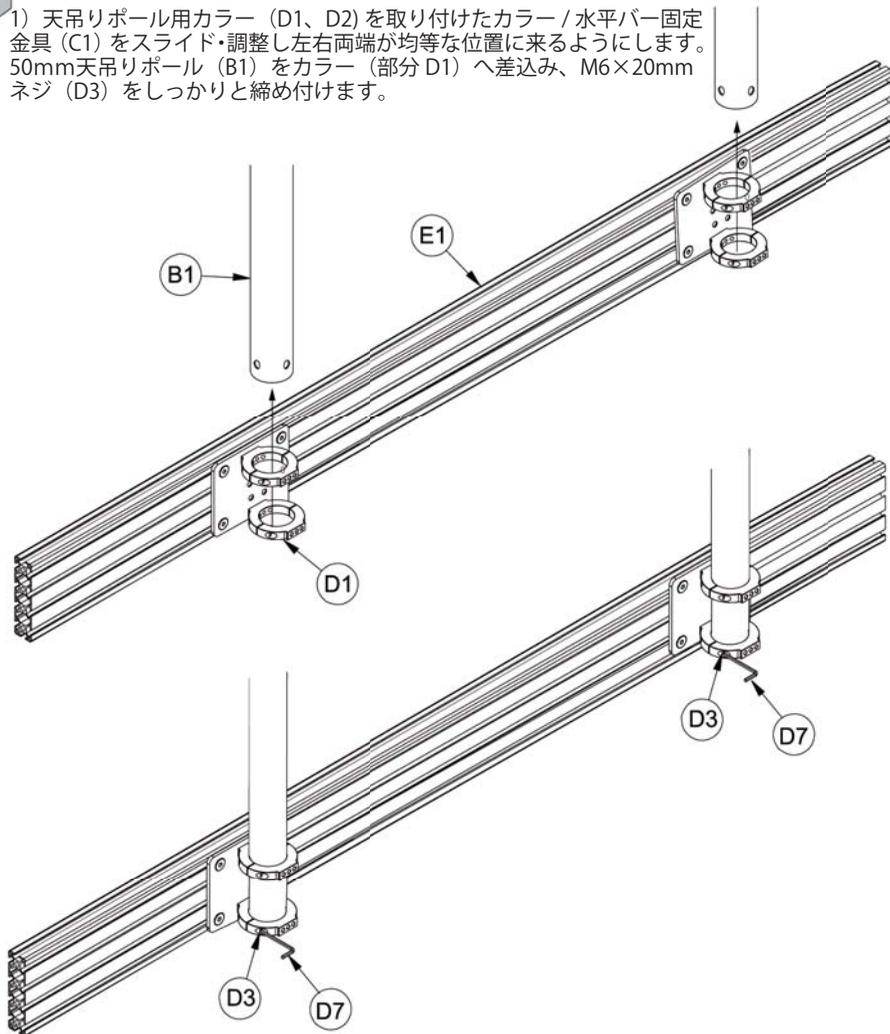
モニターを取り付ける前に 8mm×60mm 六角穴ネジ (A2) もしくは 8mm×12mm 皿頭ネジ (A5) がしっかりと固定されていることを十分確認してください。

3) すべてがしっかりと取り付けられていることを確認した後、天吊り金具の天井固定板カバー (A4) を取り付けます。

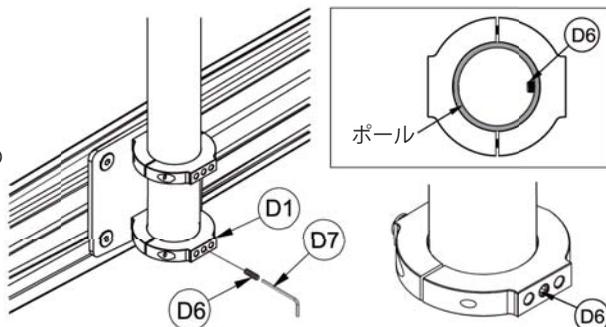


4 水平バーをポールに取り付ける

1) 天吊りポール用カラー (D1、D2) を取り付けけたカラー / 水平バー固定金具 (C1) をスライド・調整し左右両端が均等な位置に来るようにします。50mm天吊りポール (B1) をカラー (部分 D1) へ差込み、M6×20mmネジ (D3) をしっかりと締め付けます。

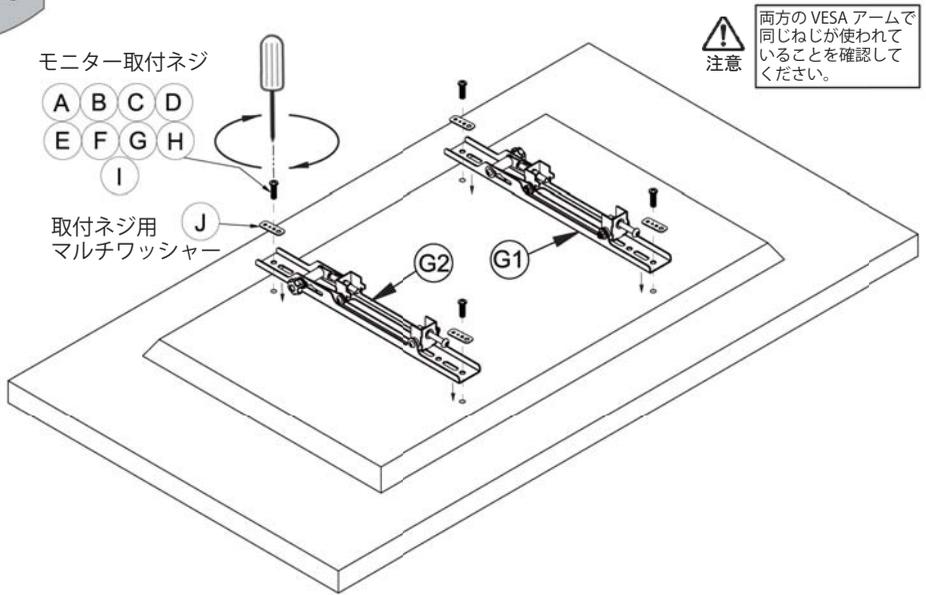


2) 支柱からの脱落を防止するために、図のように、天吊りポール用カラー (D1) の真ん中のネジ穴に、M8×25mm 無頭ネジ (D6) をねじ込み、50mm 天吊りポール (B1) にある穴に入り込むようにします。M8×25mm 無頭ネジ (D6) の頭が天吊りポール用カラー (D1) と面一になるまでしっかりと締め付けてください。

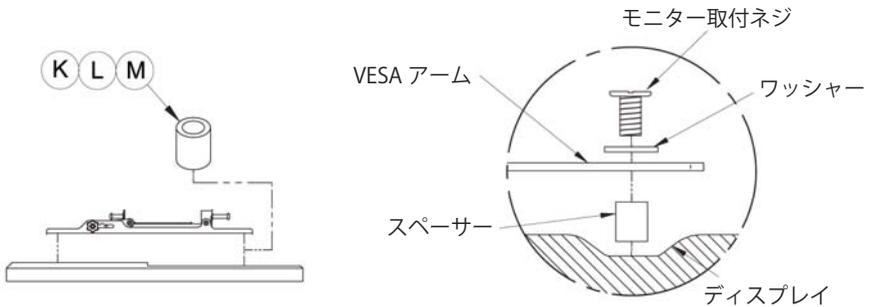


5A

VESA アームを取り付ける (BT8390-VESA400MAF 以外)

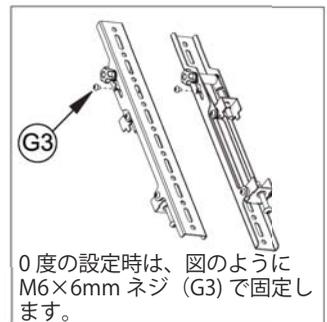
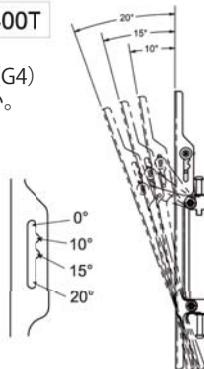
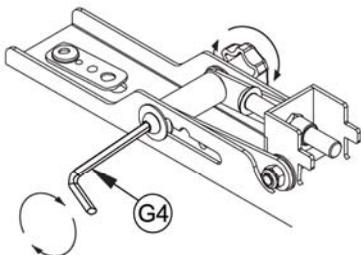


スペーサーを使用する場合には下図のように使用してください。



BT8390-VESA200T / BT8390-VESA400T

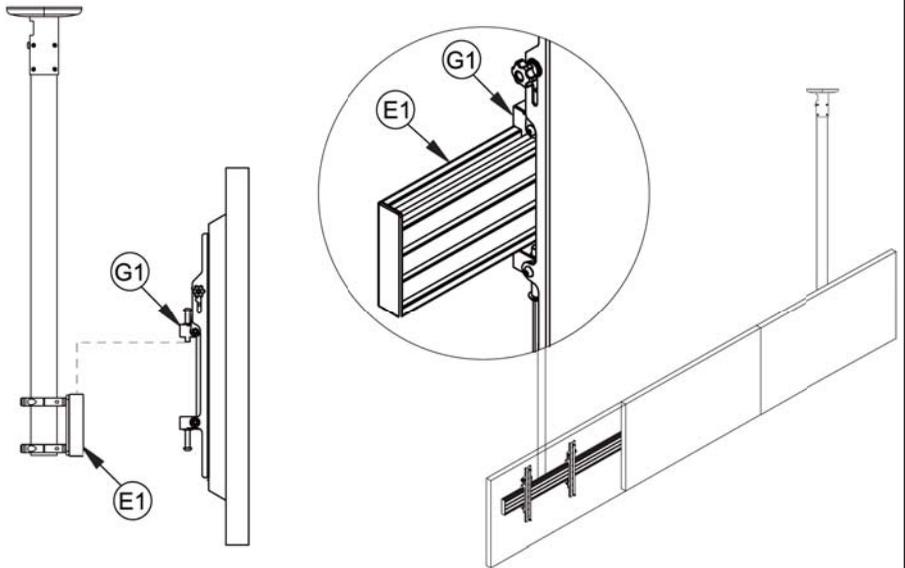
ティルティング設定は 4mm 六角レンチ (G4) を使用し、下図を参考に設定してください。



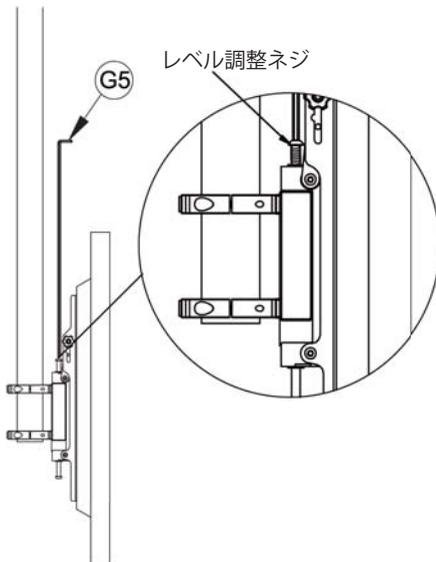
6A

水平バーにディスプレイを取り付ける

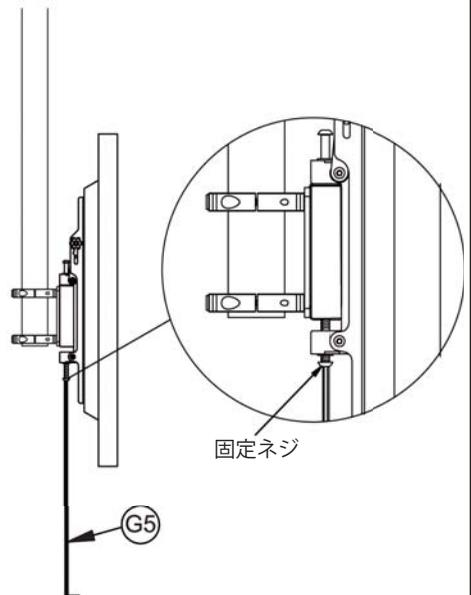
1) 下図のように、VESA アームのフックを水平バーのレールに引っ掛けます。



2) 高さを調整する場合には、下図のレベル調整ネジで行います。

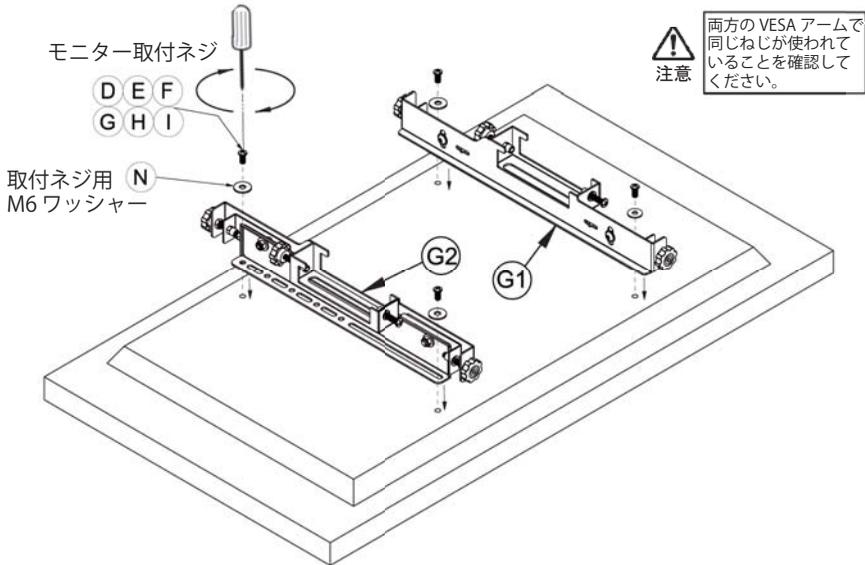


3) 調整が済めば下図のように5mmロング六角レンチ (G5) を使用し固定ネジを締め付けてください。



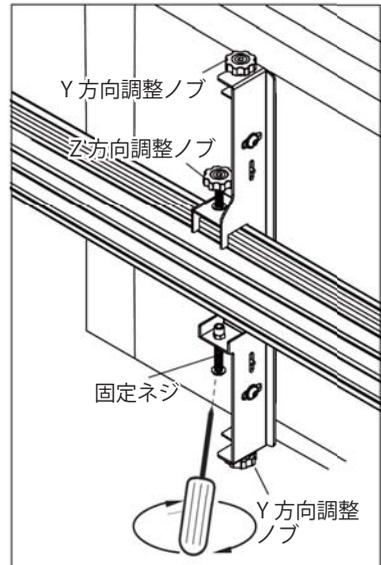
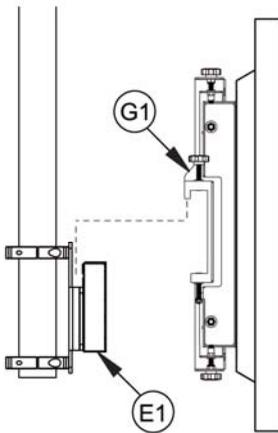
5B

VESA アームを取り付ける (BT8390-VESA400MAF)



6B

VESA アームの Y もしくは Z マイクロ調整ノブを使用して画面を調整します。
ディスプレイの調整が完了すれば、VESA アームの下部に固定全ネジを締めて固定します。



Z方向調整ノブ
調整範囲：13mm

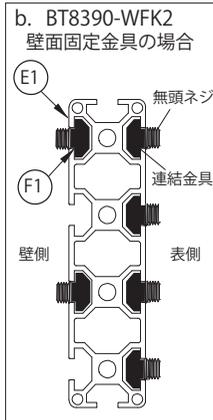
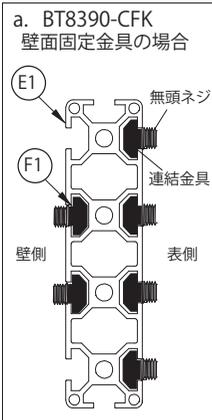
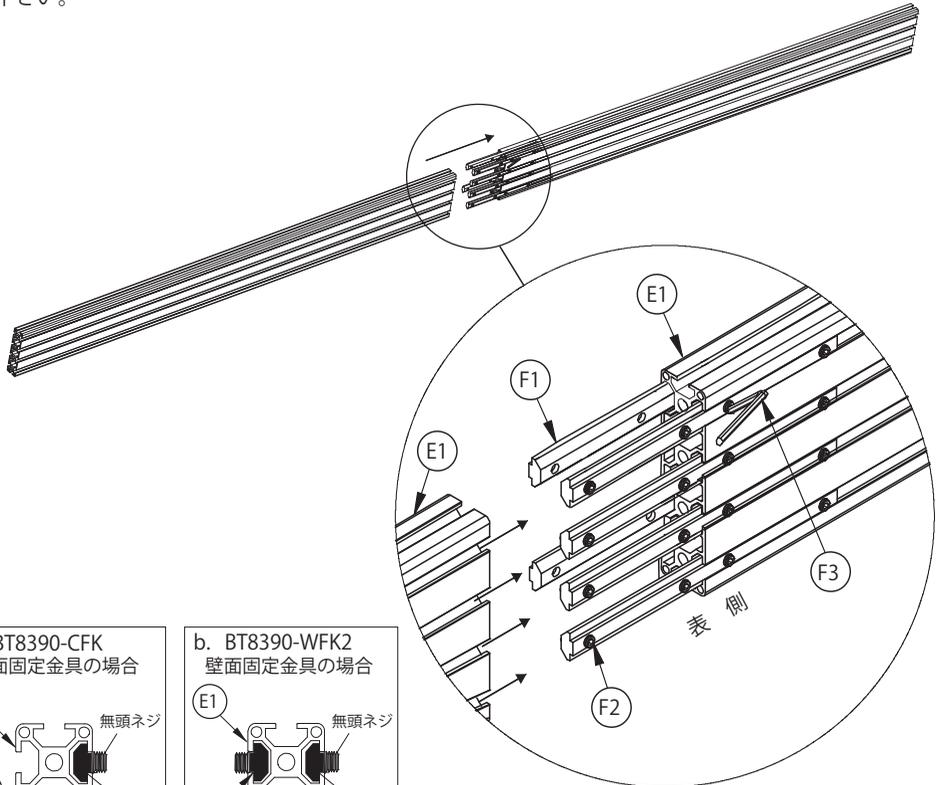
Y方向調整ノブ
調整範囲：13mm

重量のあるディスプレイの場合、調整方向に軽く手を添えて調整すると、よりスムーズに行えます。

水平バーの連結方法

BT8390-EXT を使用した水平バーの延長

1. 水平バー (E1) の表側スロットに図のように連結金具 (F1) を 4 本差し込みます。壁側のスロットは BT8390-CFK と BT8390-WFK2 によって差し込むスロットが変わります。
2. **a. BT8390-CFK の場合:** 壁側のスロットは、中段の 2 本のスロットに連結金具 (F1) を差し込みます。
b. BT8390-WFK2 の場合: 壁側のスロットは、上段と 3 段目の 2 本のスロットに連結金具 (F1) を差し込みます。
3. 連結金具 (F1) に無頭ネジ (F2) をねじ込みます。この段階では無頭ネジ (F2) はゆるい目にしておきます。
4. 水平バー (E1) を連結してから、無頭ネジ (F2) を 3mm 六角レンチ (F3) でしっかりと締め付けて固定して下さい。

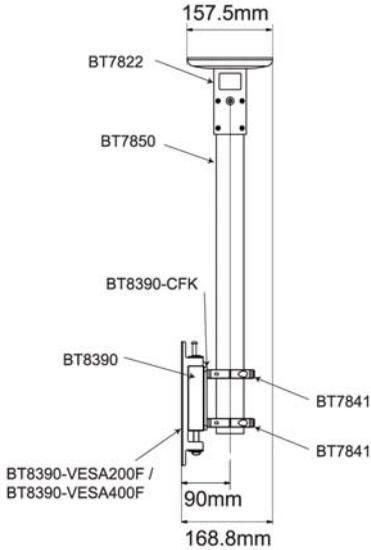


BT8390-WFK2
壁面固定金具の例

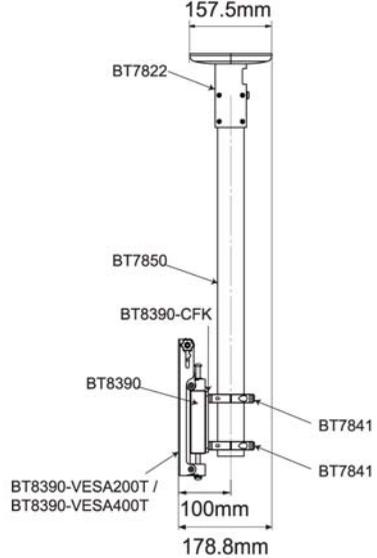
BT8332

外観図

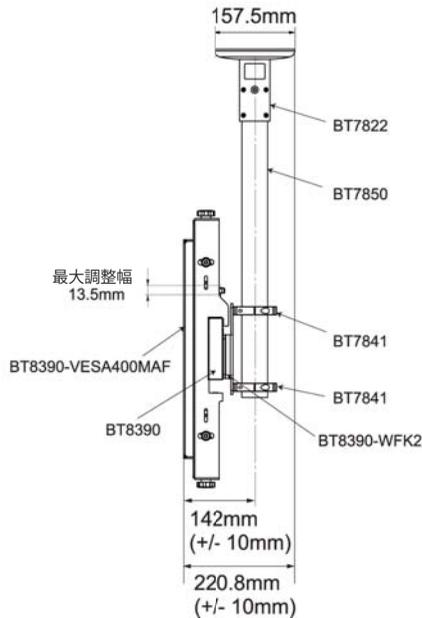
VESA アームが薄型固定タイプの場合



VESA アームがティルティングタイプの場合



VESA アームが BT8390-VESA400MAF の場合



<http://www.studiotech.jp/b-tech/>

